

2014 年度点検・評価シート

I 評価項目・担当部局

対象部局	スポーツ・健康科学部
評価基準 8	社会連携・社会貢献
点検・評価項目(2)	8-2 教育研究成果を適切に社会に還元しているか。
評価の視点	教育研究成果を基にした社会へのサービス活動
	学外組織との連携協力による教育研究の推進
	地域交流・国際交流事業への積極的参加
点検・評価項目(3)	8-3 社会連携・社会貢献の適切性について定期的に検証を行っているか。
評価の視点	責任主体・組織、権限、手続きを明確にしているか。また、その検証プロセスを適切に機能させているか。

II 【点検・評価項目ごとの現状説明】

8-2	<p>スポーツ科学科では、教育研究成果の社会への還元については、2012 年度は「大東文化大学陸上教室（東松山市および周辺地域在の小学生から成人までを対象）」、「高齢者トレーニング教室（鳩山町との連携事業）」、「坂戸市小学生バレーボールチーム（坂戸勝呂 Jr.、坂戸アザレア Jr.）指導」、等々の実績があり、教育研究成果を基にした社会へのサービス活動に積極的に取り組んでいる。また、学外組織との連携協力による教育研究の推進については、東松山市および上尾市と連携し、地域スポーツ推進に関わる政策等の立案、公共スポーツ施設の課題等について検討する機会を得ている。</p> <p>健康科学科では、「高齢者トレーニング教室（鳩山町との連携事業）」等の実績があり、教育研究成果を基にした社会へのサービス活動に取り組んでいる。また、学外組織との連携協力による教育研究の推進については、複数の民間企業や自治体と研究等の連携をしている。高大連携事業も進めている。</p>
8-3	学部として、両学科の学科協議会および地域連携委員会にて定期的に検証を行っている。

【効果が上がっている事項】

8-2	学部として、教員および在学生による社会貢献活動を通して社会連携を高めるとともに、在学生にとっても有益な機会・経験となっている。
8-3	

【改善すべき事項】

8-2	学部として、国際交流事業への積極的参加が求められる。
8-3	学部として、国際交流事業については、健康科学科では国際学会参加における研究成果発表等に留まっており、協定校との人事交流など積極的に進めていく必要がある。

本項目の根拠資料（データ類、裏付けとなる資料）

スポーツ科学科 地域志向活動基礎調査票（2012 年度）、健康科学科 地域志向活動基礎調査票（2012 年度）
---------------------------------------------------------

III 【達成目標】 目標の進捗状況は、「S：完全に達成」「A：概ね達成」「B：やや不十分」「C：不十分」で、評価する。

達成目標		目標達成の指標となるもの	評価					
			2014	2015	2016	2017	2018	
中期目標 (2014～ 2018)	8-2 教育研究成果の社会への還元および学外組織との連携協力による教育研究の推進について更なる充実を図ると共に、国際交流事業を活性化させる。	左記の内容が学科協議会、学部教授会等で提言されている。	→					
14 年度 目標	8-2 国際交流事業への積極的参加に関する検討を始める。	左記の検討内容が学科協議会、学部教授会等で報告されている。	→	A				